

(ウ) 専門医制度に関する研究 (22213101)

専門医の現在の実働数、必要数、地域分布、専門医取得に必要な症例の地域分布など、今後の専門医制度の構築に資する具体的なデータを示すことができる研究を優先的に採択する。また、研究の結果は今後我が国の専門医制度整備に活用されよう研究対象分野の学会の全面的な協力を有する研究を優先的に採択する。

③ 柔道整復師の養成のあり方について提言する研究 (22213201)

柔道整復師が年々増加していることを踏まえ、柔道整復師の業務や養成施設における教育の実態等について調査し、需給の観点から、今後の柔道整復師の養成のあり方について提言する研究を優先的に採択する。

④ 医師と医療関連職種等との連携や勤務形態の在り方に関する研究

(ア) 女性医師支援に関する研究 (22213301)

女性医師の離職防止や復職を支援するため、勤務交代制等の導入などの勤務環境の整備等を行うことにより、女性医師が継続して勤務しているという実績を上げている好事例を収集することを通じて、今後の女性医師支援のあり方や効果的な導入策について提言する研究を優先的に採択する。

(イ) 医療機関経営に関わる専門人材の養成・能力開発プログラム等の策定に関する研究

(22213401)

経営の実務者である理事長や事務長などに安定した医業経営に資するスキルを短期間に効率的に身につけさせることで、経営に関与する医師や看護職の業務負担を軽減させるような多職種連携の一環としての視点を有する研究を優先的に採択する。

(ウ) 歯科診療所を中心とした地域基盤型の歯科医師臨床研修のあり方に関する研究

(22213501)

地域における医療連携を一層推進するため、歯科診療所を中心とした歯科医師臨床研修の実施体制、研修プログラムの構築、指導の在り方等について、具体的な提言を行う研究を優先的に採択する。

【若手育成型】

若手研究者が上記(1)～(5)の公募課題において主体となって行う研究

(22213601)

<地域医療基盤開発推進研究事業全体の留意点>

研究計画書の提出に当たり、以下の点に留意すること。

ア. 目標を明確にするため、研究計画書の「9. 期待される成果」に、当該研究により期待される科学的成果及び当該成果によりもたらされる学術的・社会的・経済的メリットを具体的に記載すること。また、「10. 研究計画・方法」に、年度ごとの計画及び達成目標を記載するとともに、実際の施策等への応用に至る工程を含めた研究全体の具体的なロードマップを示した資料を添付すること(様式自由)。

なお、研究課題の採択に当たっては、これらの記載事項を重視するとともに、中間評価及び事後評価においては、研究計画の達成度を厳格に評価する。その達成度(未達成の場合にはその理由、計画の練り直し案)如何によっては、研究の継続が不可となる場合もあり得ることに留意すること。